

私たちの大切な 地域医療を守るために

住民・医療者・行政が一体となり、「地域医療」を守っていくため、様々な情報を発信します



福祉センターでは、西祖谷老人開催され、血圧・血糖値・骨密度など約30名の地域住民の方々の健康チェックを行うとともに、医学生による糖尿病

研修初日には、西祖谷老人福祉センターで健康教室が実施され、血圧・血糖値・骨密度など約30名の地域住民の方々の健康チェックを行うとともに、医学生による糖尿病

医大生が三好市内で研修 地域医療の現場を体験



8月18日～19日の2日間、夏期地域医療研修（徳島県主催）が実施され、西祖谷山村診療所では5名の医学生を受け入れ、診療所での実習や健康教室などが行われました。

2日目の介護福祉施設での研修では、医学生たちはお年寄りとコミュニケーションを図りながら、一人一人に丁寧な診察をしました。

研修中の医学生に聞きました

① 三好市に研修に来て思ったことは？ ② 将来、どんな医師になりたいですか？



自治医科大学 4年
たていし せいじ
立石 聖士 さん

① 地域の人たちとふれ合うのは今回初めてで、思っていたよりも足・腰が強く元気な高齢者が多い。水面に映った山頂の影が美しく、自然豊かな所に感動した。
② 地域に密着した、地域の人に慕われる医師になりたい。



自治医科大学 2年
べつくく しょうき
別宮 彰起 さん

① 皆さん元気があって、活力をもらえた。自然（山）が壮大！
② 地域に戻って、専門医よりも総合診療のできる医師になりたい。

四国まんなか交流協議会「観音寺市・四国中央市・三好市」3市交流事業

古民家カフェでおいしいランチとスイーツを用意しています

四国まんなかde愛イベント vol.2 in三好



【日時】10月23日（日）
10時30分～（受付10時）
【場所】スペースきせる
（池田町マチ 2467-1）ほか
【費用】男性 2,500円
女性 2,000円

【定員】男性 15名、女性 15名（申し込み多数の場合は抽選）

【対象】25歳から39歳ぐらいまでの独身男女

【申込方法】往復はがきでお申し込みください。

往復用はがきの往信宛名面に「〒778-8501 三好市池田町シンマチ 1500番地2 三好市役所地方創生推進課宛」とご記入ください。返信の宛名面にご自身の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。往信の裏面に、イベント名「四国まんなかde愛イベント」、ご自身の郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、電話番号、職業をご記入ください。返信用の裏面には何も記入しないでください。

【申込締切】10月6日（木）必着

【お申し込み・お問い合わせ先】

三好市役所地方創生推進課（電話 72-7607）

現代アートの祭典で瀬戸内の島々の食や文化を満喫

瀬戸内国際芸術祭 2016 伊吹島アートを巡る旅



【日時】10月19日（水）
8時 旧船井電機跡地集合
17時解散（予定）
【内容】観音寺市と四国中央市の皆さんと交流をしながら、「瀬戸内国際芸術祭 2016」伊吹島のアート作品鑑賞を行った後、伊吹島の歴史や民俗を巡るツアー（希望者）または島内自由散策を行います。

【費用】1,500円（昼食代）
【定員】各市 20名程度（申し込み多数の場合は、抽選）

【申込方法】事業名（「3市交流事業」と記載）、氏名、住所、年齢、電話番号（持っている人は携帯番号）を記載し、はがき、メールまたはファックスでお申し込みください。

【申込締切】9月23日（金）17時（必着）

【お申し込み・お問い合わせ先】〒778-8501

三好市池田町シンマチ 1500番地2 三好市役所地方創生推進課（電話 72-7607、FAX 72-7202、Eメール：chihouseisuisin@city.tokushima-miyosi.lg.jp）



連載 地域おこし協力隊活動報告

夏のうだつマルシェが開催されました！

井上琢斗

7月30日にうだつマルシェが開催されました。当日には天候にも恵まれ、多くの方々にぎわいました。
今回、うだつマルシェを運営するNPO法人マチトソラのインターンシップとして徳島大学の学生さん4名がうだつマルシェのマーケティング調査に訪れ、私はそのサポートとして関わりました。
調査の内容は、出店者の皆さまや運営スタッフに対し「マルシェにどのような目的で関わっているか」「マルシェをどうしていきたいか」といったことをアンケート調査し、うだつマルシェに関わる人々の想いを目に見える形にしました。
また訪れた人々にはボードを使って「うだつマルシェの好きなところ」について投票式で調査を行いました。
準備の段階では、現状をどうすればより詳しく知ることができるか、どのような設問からその人の考えを知ることができるかなど、ひとつひとつの項目について入念に準備を進めていました。時には日付が変わっても議論を続けていたことも。学生さんの熱心な姿勢に私も元気づけられました。
今回の取り組みがうだつマルシェのさらなる活性化につながればと思います。次回もお手伝いとして関わりたいと思います。